

国防は最大の
福祉である
高橋季義

國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋太陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 濱野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第31号
(夏季号)
平成19年7月1日(日)
(皇紀2667年)
(大正紀元96年)
(昭和紀元82年)

第10回定時総会開催

さる5月26日ラマダホテルに於いて第10回定時総会を開催。120名の出席者を得て、国歌斉唱など国民儀礼の後、提出議案が承認された。記念講演は元海上幕僚長の古庄幸一氏の熱弁を拝聴(4~7面に要旨掲載)。



開会挨拶する濱野会長

本日は関西防衛を支える会、第十回総会にご出席頂き誠に有り難うございます。高橋季義前会長が逝去されて早九ヶ月が経ちます。皆様のお陰で立派な追悼文集が出来上がりました。この追悼文集を心待ちにしていました中島元相談役が発刊のその日に逝去されました。生前、病軀をおしてフロッピーに原稿を人力頂き、また関防歴史勉強会・中島塾でいろいろと指導賜るなど本会のために多大な尽力を頂きました。早速、ご霊前に持参致しましたが残念でなりません。心からご冥福をお祈り致します。

濱野会長挨拶

(要旨)

先日、ご承知のように中共の温家宝首相が来日して国会演説をしました。共産主義の独裁国家・軍国主義の首相に対して日本の国会議員が一生懸命手を叩いている。これで自由な民主主義の国の政治家と言えるのか、と愕然としました。安倍首相が数人が形式的な拍手をしていましたが、拍手はこれでもいいんです。外交儀礼の拍手でもいいんです。そもそも日本の国会で演説させるのが間違っています。

今、皆様のお手元にお届けしました高橋前会長の追悼文集『至誠が生きた人』を読んで思っているのは実に偉大な、凄方だった一言であります。海軍兵学校で鍛え抜かれた魂が脈々と生き続け「このままでは日本は滅ぶ、日本人よしっかりせよ、後を頼む」と、この本が叫んでいるように思います。まさに日本覚醒の書であります。

安政政権は靖国、慰安婦問題ではあまい路線をとって支持率を下げたが、このようにしっかり取り組んでいけることが解ってきて支持率も上がってきています。ヨーロッパ諸国が、中共に武器輸出の動きがあったとき、価値感外交を展開し、自由・民主・人権・法治の四項目を共有しない国に武器禁輸を解くべきでない、とこれを止めさせたのも実に立派でした。この安政政権が五、六年続けば日本は確実に変わります。本会としては安政政権をしっかりと支え、日本真正を固めていかなければならない、と考へます。

最後にりましたが故高橋会長の遺言で日本人の心を取り戻そうと三月十一日熱血歌唱祭を開催させて頂きました。二千名の会場があふれ一部の方々は大変ご迷惑をおかけしましたが、入場された方々からは大好評を頂きました。これも皆様のお陰であり、衷心より御礼申し上げます。

中島元相談役永眠される

去る、五月二十一日、中島元相談役が肝臓ガンで物故された、享年七十七歳。

奇しきも編集委員をお願いした、故高橋季義前会長の追悼文集『至誠が生きた人』ができた日である。昨年末より病軀を押しつけてフロッピーに原稿を入力して下さった。体調が悪いなど露知らず、理事会で入力者を募ったら気安く引き受けて下さった。ゲラ校正第四校をお見舞いがてら病室にお届けしたのは四月二十九日であった。それから二十日あまり、よもやの想いである。思えば二月二十六日、便箋七枚に亘る長文の私信を戴いた。それには達筆でしっかりとした文字で病室での心境が綴られていた。それを再読、心境を仄聞して黙読する。

吾にあり 府警魂 綴る文字
五月の空を 浄土へ翔る

(新川)

関西防衛を支える会 会長

濱野晃吉様

新緑のみぎり、ご機嫌いかがでしょうか。この度は、故 高橋季義前会長・追悼文集『至誠が生きた人』を、惠送賜り、本当にありがとうございます。故 高橋季義様のご遺徳をお徳びいたしつ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。心より感謝いたします。

申し上げます。高橋季義様のご生前の御恩を忘れることなく、ご厚情を励みに一杯頑張っておりますので、どうぞ引き続きのご指導を賜りますようお願い申し上げます。取り急ぎ御礼まで。

平成十九年六月吉日

内閣府特命担当大臣 衆議院議員

高市早苗

故・中島元相談役略歴

- * 昭和5年2月、朝鮮、京城に生まれる、7人兄弟の長男。
- * 少年時代は満州・奉天で過ごす、奉天二中、3年生で終戦を迎える。
- * 少連兵に逮捕され1カ月の牢獄経験を持つ、昭和21年引き揚げ帰国。
- * 昭和24年6月、国家地方警察巡査昇任。
- * 昭和28年1月、国家地方警察巡査部長昇任。
- * 昭和29年7月(警察制度改正)大阪府四條畷署勤務。
- * 昭和33年4月、天理大学外国語学部(短期)入学。
- * 昭和34年4月、同上卒業、大阪府警察本部外事課勤務。
- * 昭和34年10月、大阪府警察本部補昇任。
- * 昭和40年3月、大阪府警察本部昇任。東成警察署勤務。
- * 昭和47年3月、大阪府警察本部昇任。布施警察署刑事課長。
- * 昭和52年1月、第二機動隊隊長勤務。
- * 昭和55年3月、大阪府旭警察署長勤務。
- * 昭和57年3月、警察庁警視正昇任。近畿管区警察局長通庶務課長。
- * 昭和60年3月、大阪府南警察署長勤務。
- * 昭和62年3月、警察庁警視長昇任。
- * 昭和63年3月、定年退職。
- * 昭和63年4月、勸大阪21世紀協会常務理事。
- * 平成7年12月、コスモ警備(株)副社長。
- * 平成14年11月、勲四等瑞宝章受賞。
- * 平成19年2月、肝臓ガン発覚、3カ月の闘病後、5月21日永眠。

●御入会のお願い●

お振込は下記金融機関でもできます。

三井住友銀行 守口支店
普通 1261314
口座名 関西防衛を支える会
郵便振替口座番号
00960-2-137035
口座名 関西防衛を支える会
《年会費》
一般会員…1口 3,000円
維持会員…1口 10,000円
法人会員…1口 20,000円

※1口以上何口でも申し受けます。銀行振込の場合は、ご住所等を当会までご連絡下さいますようお願いいたします。※会計年度 4/1~3/31です。

きんでん学園見学の御案内

人づくりの道場と評価される「きんでん学園」の見学会を下記のとおり行います。

日 時 平成19年7月20日(金)午前10時から16時
場 所 きんでん学園(西宮市今津久寿川町12-77)
集合場所 阪神電車・甲子園駅東改札口前・午前9時(時間厳守)
費 用 1000円(昼食代を含む)(別紙参照)
募集人員 100名(定員になり次第締切らせて頂きます)
申し込み 関西防衛を支える会 FAX06-4302-5187
締め切り 7月10日

☆☆☆研修旅行の御案内☆☆☆

* 日 時 平成19年10月19(金)・20日予定
* 行 先 靖国神社・皇居・防衛省
横須賀米軍基地など
* 費 用 47,000円(伊丹空港発着)
* 九段会館に宿泊(別紙参照)
* 募 集 58名(先着順)
* 主 催 関西防衛を支える会

中島相談役を悼む

「中島塾」を主導

会長 濱野 晃吉

高橋季義前会長の追悼文集刊行を誰よりも心待ちにされていた中島相談役が、発刊日のその日に逝去された。早速御霊前に持参しましたが誠に残念でなりません。

中島相談役は生前、病軀をおして追悼文集の原稿をフロッピーに入力くださった。また弊会の歴史勉強会「中島塾」を主導され、幅広く御指導いただきました。弊会に多大なご尽力をいただきました。

昨年十一月三日、ホテルセイリュウで「大和心のつどひ」があり、「亡国教科書から愛国教科書へ」をテーマに講演させて頂いた時、中島相談役も出席くださり講演前の枚岡神社(河内ノ宮)での昇殿参拝、講演後のお風呂も一緒に。堂々とした体格で血色も良く、いろいろ親切にアドバイスを頂いた。

今年四月中旬に大阪市大病院に入院中と聞き、お見舞いに伺った。抗癌剤を投与され、吐き気、下痢、全くの拒食状態と最悪だった。その度に高橋前会長の遺影を取り出し「氣力に欠けるなかりしか」の叱咤を得ながら頑張っていた。と言っておられた。そのような闘病の中にあつたが、五月二六日の定時総会のことをご懸念して頂き、自分は参加できないが友人に是非勧めたいから、機関紙及び講演チラシを自宅宛てに送付するよう指示くださった。

長生きして、ご教示賜うことが多々あったのに残念至極である。中島相談役の愛国の志をお祈り申し上げます。

中島元先生お安らかに

大和心のつどひ代表 吉村 伊平

「大和心のつどひ」には三年前くらいからほぼ毎回参加されていた。出席のご返事には質問事項を記入されている事が多かった。特に中国、台湾問題には強い関心をお持ちであった。当初、私は気話まりのご様子で、関防歴史勉強会・中島塾の会場の錦城閣でエレベーターが来ても一

台遅らせて、私と同乗を避けておられた、様子だった。昨年十一月二十三日、「つどひ」の総会の後で一緒に一風呂浴びながら「将たる者は部下の骨を拾うが氣持が大切ですね」と話かけたら「全くその通りですよ、絶対に大切と思えますよ」「大和心のつどひも毎月講師を依頼するのは大変でしょう」と迎えてくださった。

中島元相談役と私が最初に出会ったのは、終戦後の混乱期の昭和二十五年であった。相談役は満州から引き揚られ青雲の志を抱かれ昭和二十四年六月に国家地方警察を拝命された後、最初の赴任先が淡木市に所在した「国家地方警察・三島地区警察署」(現・淡木警察署)であった。終戦直後であったため若き警察官達はいずれも住む家に窮して

日本人と生まれたことに感謝の念を新たにしました。それにしても今の東京大学は明治帝が御成りになったら潰してしまえ、と仰せられるのではないのでしょうか。お元気で。中島 元。



中島塾で講演中 (H.18.12.10)

「講師の」鳴鶴さんの中共最新情報をぜひお聞きしたいのですが、残念ながらまだ龍の島です、よろしくお伝えください」と書いて送って下さった。共に想か

北面の武士

村上 学

また、四月例会の御返事には「北の子豚が引つ繰り返る姿と(この方はそう遠くない)中共の崩壊を見るまでは目をつぶれない。」

愛国心の背骨が、真つぐな人だった。関防歴史を支援する会において、博覧強記、冷静沈着の代表であった。高橋前会長の提唱された「若し人達が日本の近現代史を知らなざる、何と

一緒に酒を酌み交わすことは幾度もあり、そこで出てくる言葉は「お前の親父は偉かったが、それ以上にお前の母親には感謝している」など終戦後の混乱期の想い出を語りおられた事も、つい昨日のように思ひ出す。

特に相談役のエピソードとして、府道大京線沿い、千早丘派出所が建設され、その二階が独身寮として使われていた。相談役は居住されていた元診療所から転居し勤務されることになった。その派出所の前の府道を境にして向かいに一軒の米屋さんがあり、その米屋さんの娘さんと恋仲となつて、後に結婚されたのが現在の「夫人である。

よく仕事面で指摘を受け、私の形勢がいよいよ悪くなると、恋愛時代の「あとのきの事を他言しまつせ」との話を聞いては内緒に「これと懇願されました。また、相談役が第二機動隊を創るのだ、と猛訓練を行つて有るであったが、機動隊隊舎に白色の可愛い日本犬が迷い込んで来た。隊員達は愛嬌のある犬の仕草を見て訓練の疲れを癒していた。ある時、悪い隊員がいて、その犬の顔にフェルトペンで「元」と黒字で鮮やかに書き付けた。日頃から厳しい訓練で泣きを見ていた隊員達は、その犬を見ては「ゲン」「ゲン」と呼び捨てにして鬱憤を晴らしていたが、その犬は尻尾を振りながら愛嬌を振り撒いていた。ある日、その事を知った中島隊長が烈火のごとく怒ると思いきや、破顔一笑して、その犬を「ゲン」「ゲン」と自ら呼び可愛がっておられた。人間的にも魅力があり、その力量の大きさを見せつけられた隊員達は、それ以降は「ゲン」と呼び捨てにせず「ゲンちゃん」の愛称をもって呼んでいた事が記憶に残っている。

辞世の句

身はたとえ

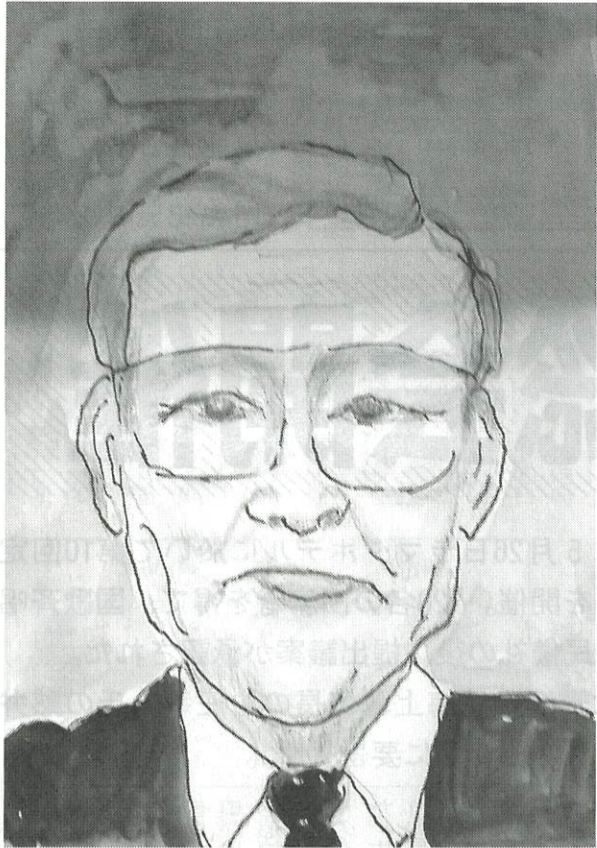
草葉の陰に

朽ちぬとも

風天と化し

国を護らん

(平成十九年五月吉日)



中島相談役の自画像

府警史に残る人物

顧問 竹本 恒雄

その時の出会いはから師弟関係が続いて来たのである。私も昭和三四年に大阪府巡査を拝命し、再会したが「お前は竹本の息子か、親父さんには大変世話になった。しかし、お前の面倒を見ることはしない。自分自身で勉強し人生を切り拓いて行け」と激励を受け、再度師弟関係となった。大阪府警察では同じ警備部門に勤務したが、一度も一緒に勤務は無く、上司・部下の

中島相談役は苦勞人であったが、その苦勞は表に出さず努力をされ、多くの人材を育成された。大阪府警察で残された多くの功績とともに府警史に残る人物であったといえる。「関防歴史を支援する会」の高橋季義前会長が逝去され濱野晃吉会長が就任された際、濱野会長と中島相談役との対話の中で、私の名前が出て来たことから、ある日、中島相談役から電話があり、突然「竹さん、お前、濱野会長を知っていたのか、関防歴史を支援する会の顧問になれ」と命じられ、お世話になった次第である。

中島相談役には永きにわたり公私ともに御指導を受け、師弟関係にあった事を感謝している。ここに謹んで心から「冥福をお祈りする次第である。」

平成一九年五月三日 (元第一方面本部々長・警視長)

定時総会

防衛講話

ただ今ご紹介頂きました古庄でございます。大変丁寧な紹介頂きまして有難うございます。私事でございますが、実は私は、阪神基地隊に二回も勤務したと言つ、おそらく普通の海上自衛官では無い経験を持つております。昭和五三年に掃海艇の艇長として勤務致しました。二回目は、今から七年前に阪神基地隊司令を拝命して約一年強、勤務致しました。ですからいろいろな勤務地がございますけれども、非常にお世話になりましたし、関西のどなたからでも声がかかるとノーと言えない、もうイエッサーと言つて「こちらにお邪魔しております」。

この度、関西防衛を支える会の第十回という節目の総会後の講演をするように、昨年の十月に濱野会長から言われまして二つ返事でお願い受けしました。初代の高橋会長にはこれまで阪神基地隊の時からお世話になっておりまして、いろいろな指導を賜りました。

そして今日こちらに着きましたら『至誠に生きた人』という、大変素晴らしい高橋会長の追悼文集を頂きまして、ちょっと拝見しましたけれど、これだけ多くの方が、初代高橋会長のために文章を寄せられたというのは、本当に会長の徳であらうと感じております。ここで一時間半時間を頂きまして、話をしようというので大変光栄に感じておりますが、実は来て見て、陸海空の現役の制服の皆さんがいらっしゃるのですね、ちよつとびっくりしましたと同時に、ちよつとこれやばいな、どの色(陸海空の制服)の悪口も言っちゃいけないなと思つと同時に、三つ揃つておりますから三つとも言つていいのかなと感じております。難しい話は出来ませんし、しようとは思いません。どつぞ気楽におつきあいを頂きたいと思つております。

今、自衛隊の中でも始まったばかりで暗中模索と言いますか、大変な状況下にある統合運用について話したいと思つます。しかし「運用」なんて言つたつて全く意味が分からない。このシステムが発動する直前まで現役でいましたので、そのへんの何故、運用なんて言葉になつたのか、どつていう経緯を経て今日に至つてくるのか、とか言つ事を含めて、敢えて統合作戦という演題にしたのは、私の個人的な思い入れが大

変でございます。しかも一番分かりやすい、世界中で一番分かりやすい日本語にさせて頂きました。

自己紹介を兼ねて話をしなければならぬと思つておりますが、三六年間海上自衛隊で勤務をさせて頂きました。その間、実に二九回配置を経験しました。普通の会社とか公務員の方でも二九回の配置替えなんて考えられないと思つます。

若い時はほとんど一年毎の交代でして、それも区切りのいい、学期末とか、或いは三月、四月という転勤は殆どありませんで、十二月とか、八月盆の休みの間とかそういう時期が多つございました。私は三人、男の子がいるのですが、長男は、幼稚園を三つ行つておりました。卒園していません。と言つのは、十二月の転勤だったので、新しい所では幼稚園に入れたのでした。そして小学校五つ、中学三つ、高校二つの転校をしております。私は家族連れで転勤すると決めていたもので、子どもには大変迷惑をかけたのかなと思つます。

息子は成人して、近くに住んでいますが週末に帰つて来て酒飲むと、「本当に親父はいかげんで勝手だった」と言います。艦船勤務を十七年間してきますから殆ど家にいないですね。艦から上陸してくると、酒飲んで息子に「おい、ちゃんとしてるか」としか言わず、本当にあの頃はいいかげんだったなと思つます。退官して二年半経ちますが、こんなに自分の地位が家庭内で逆転するのかな、と言つ事を今ひしひしと感じてます。

会社から夕方帰ると、女房は料理を作つて居るのですが、「あれ？今日は誰か来るな」と言つのがすぐ分かるんです。食卓の準備状況が全然違うんですね。私と妻と二人の時は、健康の為とか云われて汁一菜の淋しい食事をして居るのですが、長男が次男が三男が来る時は、もう全然違うわけですね。豪華なステーキが付いて、ビールのグラスが置いてあ

つて、「今日誰が来るんだ？」と言つと「長男が夕方来るらしいよ」と。二年半前までは、これ逆転してたんですね。

子供達に言わせると「今日はお父さんが帰つてくると分るんですね。普段はカレーライスで毎日やってきたのに、夕食にステーキが乗つてたり、魚が付いてたりして、何んか妻がそわそわしてると、子供達はすぐ分かるんですね、今日は親父が帰つて来るな。たった二年間で立場が逆転するのだから、いま悲哀を感じています。現役の人は直ぐにそうなりますから、先輩の意見として忠告してあげます(笑)」。

国内に目を転じて見ると、いろいろな事が起つて居ます。海上自衛隊はもちろんイージス艦の機密漏洩問題で今大変な調査をやつて居ます。各自衛隊の中でも、またあつて話をします統合作戦とか、予算の問題があります。

一方では、民間の会社は会社で、官庁は官庁で、いろいろな事で、テレビを観ると「申し訳ありませんでした」とワンパターン化し頭下げてますね。国会は国会で、そんなこと本当にやつていいのかわからない議論が盛んに行われている。学校は学校で、学級崩壊しているという、大変なニュースが今国内で流されて居ますね。

そついで、世界中に目を転じたら何が起つて居るのかというのを、昨日・今日の新聞に掲げている記事で見ると持つて来ました。昨日の読売なんですが、米海軍がペルシャ湾に二つの空母機動部隊を展開している、というのが大きく出て居ます。

何故展開しているのだということなんですね。「イランに圧力」という見出しで、これだけ大きな紙面が出ていて、各社とも載せていますし、英字新聞に至つては二面に二個キヤリアグループ展開というのが出てました。それから今朝の読売ですね。

防衛関係で大変なことが三つ出ているのです。北朝鮮が短距離ミサイルを昨日発射したと。それに關して日本政府のコメントってほとんどないんですね。

韓国政府は二つ出しています。「通常の訓練ではないかと」評論している事と、ちよつと韓国がイージス艦を進水させたという記事ですね。皆さんイージス艦と云うのは、「存知の通り、ミサイルを撃ち落とす能力を持つて居る船ですね。その進水に合わせ発射したんじゃないか、と言つ風」に韓国の軍事筋は評論している。

これはすごいですね。常に軍事的にヒリヒリと緊張しているところはそついで見解を以て居るのか、北朝鮮は何故ミサイルを撃つたのか。韓国のイージス艦は何のために、どこの国を相手と考えてイージス艦を配備するのかということも、日本は誰もコメントしていないですね。

それから、新聞にもちよつと出て居るのですが、台湾が統合の大演習を二週間やつたんですね。私はそれを見学に行つてきました。

台湾はミラージュ戦闘機を導入して居まして、F16戦闘機とミラージュが一緒になつて訓練をやる。陸軍は陸軍で、富士の火力演習のようなステーション作つて、世界中に案内を出して、それを見学させる。M49という古い、停まらないと撃てないという戦車を出してやりました。それから高速道路にミラージュとF16を着陸させる。そついでどこを見せながら世界中に示す、そしてニュースで流して宣伝する。

そついで事を二週間見てきて、日本に帰つてみたら「すみませんでした」と言つて何かまた謝つて居る。日本はどうなつて居るのさうさうさうさうさを感じながら、今から話さなければいけないのですが、今日、世界の流れは、ほとんどの軍が統合作戦です。もう単一のコンポーネント、陸海空、或いはコーストガードで作戦を考へている国は、殆どないと言つて間違いないと思つます。

早い時期から、米軍もそうですし、カナダ軍にしてもオーストラリア軍にしても、統合軍といつこと、いろいろな部隊編成をして、或いは整備を整えて無駄を無くして来て居りました。だつてなかなかうまく行かなかつた。何故うまく行かなかつたかといつと、文化が違つたからですね、全く文化が違つた。統合作戦でやらなければもつこれからは戦争は出ないといつ考え方は、ずつと世界中にありました。

一番大きな転機になつたのは、やはり9・11テロですね。その9・11が発生する年にラムズフェルド(国防長官)は着任して、今の装備、今の編成では駄目だと訓辞をした。実はこれはもつと統合化して近代化しなければ、冷戦時代のままの兵力整備、教育訓練をやつては駄目だ、とブッシュが州知事の頃から言い続けていた事だ。ラムズフェルドが、ペンタゴン(国防総省)で着任の訓示の時にそれを言つたわけですね。更に練度だとかモラルだとかは言っているのではないんだと、ペンタゴンのシステムだと言つたわけですね。

どつて言つ事かと言つと、陸海空、コーストガードなどが、みんな自分のどつての縦割りで、役所は役所での縦割りで、一つこの決定、何かをしようとする、と、いくつも結節がある。なかなか決まらない。そこに予算の無駄が沢山ある、隙間がいっぱいある。ものすごく矛盾しているのではないかと、言つた事を、そついでぶち上げたわけですね。

本当にこんなこと対応出来るのかと言つた途端に、九月のあのテロが起つてしまつたわけですね。それで一気にアメリカは体制を変えよう、と、トランプフォーメーションに火が付く。日本政府にもこついで事で編成替えをするといつ連絡があり、何年何月まで回答を出してくれといつ。日本政府は「いや申し訳ない、この選挙が終わるまで」「終わつたけれども、半年後に選挙があるから」と伸ばして来た。アメリカは怒り狂つたわけですね、どつて言つたんだ、と。アメリカはトランプフォーメーションを何故必要としたかと言つと、実はラムズフェルドが言つたからだと、私はそつは思いません。

今、世界中でいろいろなところで戦をしているわけですね。アフガンの問題から、いろいろな国際紛争の

統合作戦の現状

(要旨)

第二十六代 海上幕僚長 古庄幸一



講演中の古庄元海上幕僚長

中にアメリカが割って入って、アメリカの若者が沢山戦死しているわけですね。今イラクだけでも米国の戦死者は三千人を越している。それから莫大な戦費を使っているわけですね。だからもっと効率的に精密に無人で、今の技術を使ったら出来るじゃないかと、いう所に行き着く訳です。いかに兵隊の戦死を無くすかと云うのが、一番根底にあるわけですね。国益なんですよ。地域の安全保障は、それもアメリカの国益の為のトランスフォーメーションと云うのが当然出てきている。だから日本政府は、日本の利益のためにアメリカのトランスフォーメーションと云う組むかと云うのを真剣に考えなければいけない時期だったんです。

日本はそれを基地問題に特化して、沖縄の土地問題に特化してしまっただけで、岩国、厚木、三沢で、後手後手に回って行って、アメリカから押し切られる。そういう状況が続いて、やっと日本政府が出した回答でアメリカも了解した。了解した途端に担当の大臣が「俺はそんなこと了解してなかったみたい」と言ったり、「イラクに自衛隊はそもそも派遣すべきじゃなかった」と言ったり。それは本音じゃないと、後から言っても信用回復は難しい。

引き上げてきた陸上自衛官の気持ちを全く考えていない。イラクで殉職隊員がもしも出ていたら、担当大臣のあの発言に遺族を始め現役の制服はどのようになっているか、という事をいささかでも考えたのかと言いたい。或いはインド洋に現に出て、六年目の実任務について十数カ国の海軍と一緒にやっている海上自衛官はどう思うんだ。うちの大臣、もともと出したくなかったんだ、という事を言っているぞというのを、ニュースで同時に知るわけですね。じゃ我々がここにきている理由は何なんだと、考えたと思えます。

ここから後から、あれは「いつか意味だ」とか言っても、おそろしく指揮官としての信頼関係は回復出来ないんじゃないか、と言っているに心配しています。そういう陸海空自衛隊をこれだけ多くの方々が信頼してきている。あんな政治家、政治の体制、政府の体制というのは何なんだというのを、多くの方が感じられた事は当然だと思いますね。

そういう中で世界の動きが一気に(軍)の統合に動いた。我々もずっと、何年間も作業を積み上げてきて、統合はいつあるかと云うのを、本当にたぐさんの会議をやっている、あるべき姿を求めていたわけですね。そして、世界的情勢がますます変わってきた。

国家同士の戦は当分ないだろうというのが世界中の見方です。9・11に起こったようなテロ、或いは大量破壊兵器の拡散、或いは麻薬、海賊、或いは

世界的な災害、こういうものに早く効率的に対処して、国民の犠牲を少なくする。或いは国の財産をいかに守るか、云々と云い変わって行くわけですね。防衛庁であった時も、やはり統合だな、というふうに一気に風が流れたわけですね。それで初めに、何故、演題を「統合作戦」としたのかと言った、我々制服組は統合作戦と言いつつ続けたのです。「運用」では国民に理解してもらえないのではないかと考えたのです。気の毒なのは、陸の普通科という呼称です。普通科と言いつつお分かりにならないかと思いますが、歩兵ですよ。特科って何だ、施設って何やっつてんのって。「施設は家作つての」「せいか」ってみたいになっちゃう。普通科があるなら工業・商業科もあるのかと、言いつつなキツイことを云えながら耐えてきているんです。

それで、そういう流れの中でもいいんじゃないかと、六十年間やって来て、いろんな事が国会で自由に議論される時代になったんだから、統合幕僚幹部を作るんだら作戦課、第一作戦課、第二作戦課、いいんじゃないかと。そうすれば国内外の問題

では統合作戦における文化の違いを話します。先ず言葉が違つたわけですね。海上自衛隊が号令としてかけるその号令が、陸上と航空と違つた。或いは同じようなヘリコプターを使っている、或いは航空機を使っている、小銃を使っているけれども、一つひとつの呼び名が違う。当然今まで育ってきた過程が違うわけですから。海上自衛隊は、帝国海軍の伝統と文化を、もう本当に大事にして来た。陸上自衛隊は、帝国陸軍と一切関係を断ち切って、借行社(旧陸軍の親睦団体)すら受け継がないと言ってきた。我々は違つたんだ、新しい陸上自衛隊と言ってきた。

航空自衛隊は、更に遅れて、悪い言い方をすれば陸と海から募集して、新たな軍を作つたわけですね。ですから陸軍士官学校を卒業された方、或いは海軍兵学校を卒業された方が、航空自衛隊の幹部として、最初はずっとその任に当たって来られた。限りなく真似を続けたのは米空軍ですね。そういう中で、悪口を言う時に、どういふ悪口を言っているかと言つて、今は違いますが、あとで話しますけれども、陸の人達は洋上を飛行機で飛ぶことを限りなく嫌がる。

十数年前ですが、北海道研修に陸のヘリコプターに乗って行くわけですね。陸海空の学生が十名ずつ行くんです。石狩湾というのが、丸くありますね。石狩湾の北側からカムイ岬というところがあって、我々の海上自衛隊の余市という部隊がいるところが湾になつていて、そこを何で海を渡って真直ぐ飛べないんだと。海の上を飛んで行ったらすべんじゃないかと言つて、いや陸はそういうふうな航法は

にスムーズに対処できる、と考えたのです。そうしたら内閣法制局というところが、今まで作戦と言つた言葉を法律用語として使つた事がない、駄目だと言つてます。初めての事だから、これから新しく作るんだから良いじゃないか、ということは何回も議論して、結局押し切られるわけですね。そんなこと言つたら、組織なんか出来ませんよ。その時は、まだ防衛省になってませんから、あなた方は法律を勝手に出せないんですよ、こんな事まで言われてですよ。最後に我々は「言つたんです、市ヶ谷(防衛省)のそばに上智大学があって、その英文科の学生さん十名に翻訳を手伝ってもらおっじゃないかと。ここに今日持ってきてますけれど、英語版の防衛白書が毎年でてるんですよ。統合運用を今からやるんですよ、それを英語で何と書くんか」と聞くと、それは「Joint Operations」だと言つた。世界中で中々言つてますから、そつたなと。それを今言つた英文科の学生十名に日本語に訳して下さい、日当払つてやってもおつじやないかと。

半分でいい、統合運用と訳した人がいたら、法

しないんだと。線路航法と言つて鉄道の線路つたに行くと、それくらい海の上を嫌がるんですね。陸のパイロットは。海上自衛隊は船乗りだけに、陸を飛ぶのを嫌がるわけですね。出来るだけ早く洋上に出たがるわけですね。だから厚木の飛行場に南に向かってテイクオフするの、北に向かうとテイクオフするのは、あの世に行くと、極楽に行くとの差があるくらい、陸に向かつて飛ぶのを嫌がるわけですね。実はこれくらい文化の差があったのです。

今も統合幕僚幹部で毎朝ミーティングやったりする時に、海は幹部には号令を掛けないのです。阿吽の呼吸で、例えば海上幕僚長が入って来ると、パツと立つわけですね。そして敬礼して座る。陸は駄目なんですね。陸上幕僚長が入られます、言つたわけですね。そつとと皆一斉に立つ。「敬礼」って言わないと敬礼出来ないんです。陸には阿吽の呼吸があつてはいけません。

海は器械に一人ひとりの兵隊がついているわけですね。隣のこんなか知らなくていいんです。レーダーマンはレーダーのことだけ。だからそのレーダーマンが戦死したら代りはないんです。そつと予算のとおり方、部隊の編成、人員の配置になっているんです。陸は伝令が戦死したら、すぐ次の食事を当番でやっていた人が、サツと交代出来るようになっていて、それらが皆な阿吽の呼吸で作戦に入つたら大変なことになりますね。海は艦長

制局の言つたことを容認しよう、と、そつと云つたんです。多分、十名とも統合運用なんて訳さないと思つて、そんな日本語なんですよ。いかに誤魔化して作られているかとお分かりでしょう。先ずその立ち上がりで、いかに苦戦をしたかと云う事です。

運用と言つた言葉の生まれた経緯を語りましたが、それで敢えて分かりやすく、私は作戦と言つたので、責任はとれませんが(笑)。そつと云ういきさつがあつて、統合運用と言つてもおそろしく、どなたもお分かり頂けないだろうと思つて、こういう話をさせて頂いたわけですね。

その次に、どんなことに苦労したかと云うと、防衛白書なんですよ。この中で統合運用という項目がどう説明されているのか、という事です。基本事項として四つの事が書いてあるんですが、その一番目に統合運用というのが出て来ます。防衛庁あつての統合運用という事を、日本の防衛力の基本事項として、一番目に取り上げている。更にその中で説明しているのは、先程申し上げましたよ

以下、艦長はオールマイティですから、飛んで、かめは黒いって言つたら、絶対に黒いんです。艦長、眼が悪いんじゃないかなって誰も言わないんです(笑)。そつと云うことも実は大変な統合作戦に対する文化の違いなんです。

分りやすく下駄を履かせて話をしましたけれども、一つ大事なことは、例えば情報をいかに共有するかというの、世界的にも大事なんです。今の作戦を遂行するのには、これも大事なことなんです。敵はこっちにいる、(こいつ)こいつに動いて、迅速さはいくらだ、と、それくらい規模だと云う、その動向を伝える共通の通信網があるの、言つたら、完全にはないんです。じゃ陸海空の共通の暗号機つてどうなつてると、これは大変です。世界中大変な状況なんです、あんまり言つと能力に関することになって具合が悪いのですが、大変な状況です。海上自衛隊は、米海軍とずっとやってきてますから、米海軍との間であれば、相当な通信が出来る、情報交換が出来る、速さも早い。しかし陸上自衛隊とは統合作戦のための演習をやるとしたら、大変です。

実はこの二月に、熊本の方面艦監から話に来いと云われて行つたのですが、作戦室に行つてびっくりしたのは、総監が座ると、幕僚長以下幕僚がすらすらと並んで座つて、その前に何があるかと言つたら、日露戦争の時に乃木さんが使つたような兵棋板があるんです。

うに、安全保障を取り巻く世界環境が激変したことを書いている。今まで対国と言つていた脅威が全く変わつて多様化した。さっき申し上げましたように、テロとか或いは大量破壊兵器とか、或いは麻薬とか、また災害派遣とか、そつと云うことに作戦目標が大きく変わったという事です。

或いは、これだけ科学技術が発達したわけだから、それを活用して、今までみたいに陸海空というところではなくて、無駄を無くすために統合作戦でいいんじゃないかと言つた事を、いくつかの基本的なキーワードをちりばめて、これは世界中がそつと云う方向で動いてますから、同じ事で間違いないわけですから、諷刺文句として日本も統合作戦をこれからやるんだと言つて、昨年スタートしたわけですね。制服の中では、気持ち的には充分に出来上がつておりまして、英語でよく統合マインドと、日本語と英語、ごちゃ混ぜにした言い方をしたので、陸海空ともそのコンセンサスは十分に出来上がつた上でスタートした事は間違いないことです。これは自信を持って私も皆さんに申し上げることが出来ます。

それで何か連絡が来る、幕僚が書へ、それを纏めて、総監に「今この部隊が何時何分に終結終わりました、敵の部隊はどのへんにいるよつと」「と報告する。そつと云う、「了解」と答える。そつと本当に今時こんな事をしていると言つて、私は終わつてから「総監、統合作戦をやる一番大事なことを」だけ言います。今すぐこの兵棋板を壊さないで」と。これは誰の責任だ、もちろん我々の先輩からのずっと継続した責任もあります。我々の責任もあるけれども、やっぱり一番の責任は国民じゃないかなと思つています。

そつと云う中で、例を挙げながら話を進めたいと思つています。そつと云う事が大変かと云うことですね。一つは想定されるミサイル防衛ですね。これは陸海空で連携をとり統合でやる。司令部はここに置つてもう決まっています。誰が指揮官として動くかというのでも決まっています。考えてみれば、ミサイルというのは、遙か何千キロか、何万キロを飛んでくるわけですね。仮に北朝鮮とすると10分とかからな

いで飛んで来る。日本海には海上自衛隊のイージス艦が出ています。日本の国内には航空自衛隊が装備したミサイル撃墜システムが配備されている。陸上自衛隊も一緒にいる。陸上自衛隊はもしミサイルが落ちたら住民をいかに安全に避難させるかとか、いかに安全を確保するかという任務が与えられている。

それをどうやって演習するのか、いくら作戦計画が決められて指揮官を決められていても、訓練をどうするんだと、そこにぶちあたるわけですね。さっきいった連絡網はどうなっているのかですね。

日米で最初にミサイル発射の衛星情報アメリカから入るとします。それを誰がイージス艦に知らせるか、イージス艦はそれを撃てるのか撃てないのか、今やっける集団的自衛権です。あのミサイルは日本に向かっているのか、アメリカに向かっているのかわからないじゃないか。アメリカに向かっているのを撃ち落とせば憲法に違反するではないか。

皆さん笑っておられますけれど、これを国会で議論してらっしゃいますよ、真面目に。集団的自衛権は行使出来ない、解釈した。国民がミサイルで何人も犠牲になった。それで本当にいいの。本当にこのように馬鹿さげんを、日本国民の皆さん、よく怒らないな、と思っております。

台湾から帰って秘書が切り抜いていたのを今日持って来たのですが、日経新聞の5月21日、22日に、「集団的自衛権を聞く」と国会議員にしゃべらせて新聞記者が書いてるんですよ。この見出し(新聞をかざして)「集団的自衛権を 容認すれば党が危うくなる」という言ってるんですよ。皆さん腹立ちでしょう。皆さんが選出したバッチを付けた人が、堂々と「ニコニコ」言ってるんですよ、おかしいでしょう。

この問題は自民党の政調会長の中山さんが、「四類型に限定せず議論せよ」と云っている、これはまともなんです。四類型というのは後で説明しますが、限定したその一つひとつについて集団的自衛権を解釈し直さなきゃいけないか、というやり方を今国会で盛んにやっています。

そういう今言ったミサイル防衛、それからもう一つ例題で話をしますと、日本は島国で沢山の島がありますね。もしどこかの国が、どこかと言わなくてもいつも来られているから言ってもいいんですが、中国が、尖閣列島に船で来ちゃった。来たけれど日本の国民は何も騒がないねと、ちょっと上がってみよつと。一隻海上保安庁の船が張り付いて見張っているけれど、まあ一隻だからいいか、じゃ裏側から上陸してみるかとなります。

上がったけれど、防衛出動は下合されないし、準備出動も下合されない、海上警備行動も下合されない。じゃ杭を打つてもいいんじゃないかと、杭を打ち始めた。それでも国民は何も言わない騒がない。じゃここに兵舎を作っちゃおう。するとバッチを付けた過激(右翼)な人達が、国家主権の侵害だと、自衛隊は何とかしろと言ったとしますね。そのように状況に対して、統合運用はこう書いていっているかと言

と、陸海空、機動的に効果的に奪回する作戦を運用する、となってるんですよ。機動的に効果的に、具体性は何もありません。

世界中の軍隊が海兵隊という組織を未だに持っている。日本は帝国海軍以来、海兵隊というのを持っていないんですよ。何故か、侵略しようなんて思っていないからですよ。明治憲法でも想定していない。建軍のその時に、他国を侵略してその国を略取しようなんて思っていないから創ってないんですよ。

この話をすると、海軍で陸戦隊があったじゃないかと、誰かがいつも質問するんですよ。あれは特別陸戦隊なんです。いつの時代も必要に応じて特別編成してらっしゃいます、常設じゃないんですよ。だから陸軍は、海軍の艦に乗って船酔いしながら行って、大変な作戦をやっていたんですよ。

今、陸上自衛隊から選ばれて、新編された精鋭が、海上自衛隊の艦に乗った事がなくて、世界の海で一番シケの確率の多い日本周辺を、島嶼作戦へ出て行って、船酔いしながら飯も食えなくて、ゲロゲロ吐きながら統合運用してらっしゃるんですよ。本当に出来るのか、疑問です。だから我々は訓練をさせてくれと、実弾を撃たしてくれと、云っているんですよ。訓練しなければ、訓練以上のことは絶対に出来ません。だけど、予算がない。人員は縮小する。部隊を単に効率的に無駄をなくして機動的に運用する等、何十編と防衛白書に書いてる訓練しない出来ません。画餅に等しいんですよ。それほど統合作戦を

イラクで陸上自衛隊が大変な苦勞して帰ってきた。陸が動くといかに予算がかかるかというのを本当に如実に示しました。だけど皆さん知らないでしょう。どれくらい予算使ったか。日本には、会計検査の報告がないんですよ。

アメリカはイラク、アフガンで空爆をした。この目標と決められてパイロットが飛び立って行って、目標に向かっミサイル撃つわけですね。二発撃つたとしても、会計検査院が何故この目標にこのミサイルが二発必要だったんだと、会計検査されるんですよ。一発でよかったんじゃないかと、無駄弾を撃ったんじゃないかというところまでオープンにされるんですよ。ネットで調べて下さい。会計検査院の報告書など、そういうのが出てきます。

陸上自衛隊がこの二年半で八百億円近い予算を使わせて貰ってイラクで支援活動をやって、海上自衛隊は洋上補給を六年間やっていて、十一カ国の海軍にタダで燃料を渡しているんですよ。タダじゃない、皆さんの税金です。その燃料代を入れても八百億円くらいかと思えます。

陸軍を動かすとリスクも大きいんですよ。いつ犠

やろうと言つ事は大変なんです。

イラクに最初、オランダが派遣したのは海兵隊なんです。あの小さなオランダが何で海兵隊を持ってらるんだとその時間聞いたんですよ。そうしたら「何を言ってるんだ」と、オランダはカリブ海に植民地を持っているんだと。パナマ運河を渡った、どこかにベネズエラという国があるんですよ。ベネズエラのおよと奥にキュラソー島という島があるんですよ。今オランダ政府の保養地になっていますが、我々はこの島を守るために海兵隊を持ってらるんだと。本当に世界中、誰も知らないような、この島にはオランダの主権があるんですよ。本国から遠く離れたカリブ海の島を守るために海兵隊をもっているんですよ。海兵隊の本質を良く表しています。

簡単に統合作戦と云いますが、それに動員される陸上自衛隊を速やかに海空の兵力を持って輸送して、と書けばそうなるんですよ。だけど、行かされる陸の人って気の毒ですよ。最初作戦をやる時は必ずリハーサルをやる。米軍の海兵隊は常に艦に乗っています。今回ペルシャ湾に行っている艦には千人以上の海兵隊が乗っている。空母が行っているんですよ。どこかの作戦が下合されたらという時には、必ず事前に同じような場面をリハーサルをやるんですよ。艦の上では常に汗水流して、体を鍛えて訓練するわけですね、そして初めて作戦が出来るわけですよ。その各国の軍隊から訓練をとって予算を削って、実

性者が出るかも分からない。それに予算は沢山かかる。ヨーロッパの国々がイラクに陸軍を出したからなかったと云うのは、その事が解っているからなんです。日本はそれをやらな。

各国が軍艦を一隻しか出してない、例えばドイツ海軍としてはこのエリアを担当するよと手を挙げ作戦する。フランスは一隻だせるからこの海域をやるよと。これでも莫大な費用を使っている日本と同じ評価なんです。海上自衛隊が六年間、燃料を今ここで作戦をしている各国の艦に渡している。その評価も世界では同じなんです。国民がもし、それを知れば、費用の安い方を探れと言いますよね。リスクが少なく費用が安く評価が同じだったらどの手段を使うかと云ったら、当然に誰でも判断出来る。そういうことも国会で説明すれば必ず分かってくると思えます。だけど説明する場所がない。これが我が国の現状なんです。

そんな中で統合作戦。このあいだ、三月末に急患輸送で、鹿児島県知事の要請を受けて陸上自衛隊のヘリコプターが患者輸送に飛び立った。徳之島で

弾を減らして行ったら、強い軍隊なんか出来ないんですよ。

そういう中で、二つ話しましたけれど、いま制服は大変な努力を強いられております。海上自衛隊は、今まで各地方総監の指揮下にいた艦を全部、自衛艦隊と言つ部隊に編入しました。地方総監指揮下にいて、いつでも動けるようにしていたヘリも、全部航空集団という航空部隊一つにまとめた。潜水艦も動きやすくした。そういう努力をしながら、出来るだけ無駄をなくしてやっておるわけですね。

何故かと言つと、さっきちょっとお話ししましたけれど、同じヘリコプターを買ってきても同じように使っていない、相互乗り入れがなかなか出来ない。或いは同じ武器を使ってもなかなか難しい。部品は、航空自衛隊があの同じ飛行機を持っているから融通して貰えと言つてもなかなか手続上難しいとか、いろんなことがあるんですよ。



古庄氏の講演を熱心に聞く人達

視界が悪く天気が悪くて、他の自治体の警察も消防も輸送出来ない、地元には医者もいない。だから最終的な手段として自衛隊に派遣要請が出た。指揮官はヘリを派遣した。そうしたら非常に不幸なことに墜落して事故になった。

一方では、その捜索をしながら新しく出来た統合幕僚長のもとでの判断で海上自衛隊へ救難飛行への命令がでた。陸上自衛隊は大変な捜索と救難をやっている。その中で、一方ではオーターをせせとかなさなければならぬ。これは統合になつて来るといって例ですね。昨日の新聞で、さっき申し上げました北朝鮮のミサイルも、今までだったら海上幕僚長が「どうです

「至誠」に生きる人
高橋季義先生追悼文集
5月中旬発刊
(非売品)
ご希望の方は郵便切手300円を同封して弊会にお申し込みください。
残部少々あります。
〒542-0081大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋太陽ビル 関西防衛を支える会

英霊感謝祭
大阪護国神社では左記日時に戦没者慰霊祭を催します。
自由参加ですので時間の許す方はぜひ、ご参加ください。
* 期日 八月十五日
* 時間 十二時から十三時
* 場所 大阪護国神社
地下鉄四ツ橋線
住之江公園下車すぐ
一番出口
* 電話 〇六六六八一三三七二

か」と記者クラブから聞かれる。答えなくちゃいけないわけですね。だけど今は統合運用の体制が出来てますので、統合幕僚長が一人、あの状況はあいう状況だったと思うと話せばよい。海上自衛隊の艦を直に出す必要はないと思うと云うコメントを出した。これも統合の効果なんですね。今までだと、海上自衛隊がそんなことをしているというのは、陸と空の人は知らなかったかも知れませんが、ですからこれからは情報をいかに陸、海、空で共有する、いかに同じ訓練を営々とやるかに尽きます。これからは一に統合訓練が一番大事になると思えます。

世界的にどうなるのかなと言いますと、全く同じことがいえるわけですね。日本だけ集团的自衛権、行使出来ませんかごめんない、と言えますか。シンガポール沖から大変な海賊が出ている。日本だけでやりまして本場に言えるのか

質問 日本の憲法では国際紛争の解決には武力は使わないと書いてます。しかし拉致問題で小泉首相の時は、対話と圧力という方針でしたが、安倍さんになってから制裁だとか、真先に制裁を発動している状態だと思いませんか。武力の背景のない制裁とか圧力は意味がないのではと思いませんか。だから北朝鮮が暴発しないようにあまが、先頭に立って、制裁だと言わないほうがいいと私は思いますが、先生はいかがお考えですか。

それと日本では民間防衛を全然考えてないですね。万一核爆弾が飛んできた場合、戦前の日本みたいにABCの包囲網で暴発したような状態になる可能性を考えた場合です。韓国などは防衛演習などやっていますし、日本では全く無防備ですから、拉致された家族の方は、非常に気の毒で何とかしないといけないと思いますが、日本国民の全体を考えれば、あまり防衛を考えてない段階ではないかと。

古庄 拉致の問題は実力部隊を持ってなくて、制裁だけやっても意味ないんじゃないかという事だと思つてますが、世界の状況から言いますと、先ほど米海軍が何故ペルシャ湾に展開しているかと言つて、イランが言つて聞かないで核をどうやっていからあそこで訓練してプレゼンスして示威行動しているわけですね。

それから北朝鮮がミサイル撃つた、これは韓国がイージス艦を進水させたからだと言つて、みんな世界的には力のバランスを見ているわけですね。工作船の時のように、日本は撃たないんだと。海上自衛隊は何も出来ないんだとだけ言われながら、それでも制裁はかなり効いていると思つてますね。もしもそれでどうんぞエスカレートしていけば、じゃあ強いのかと云う質問になるのかなと思つてます。

質問 今の日米関係では、アメリカがすく(拉致で)報復すると思いませんか？
古庄 私は拉致は許せないといいです。本当に主権の侵害されていることを今まで見過ごして来た。小泉総理が向こうに行つた。いろんなこと言われまして、それで解決の端緒となり何名かの方がお帰りました。お帰りました人達を北朝鮮に返す約束だったんですね。でもそれを返さないと言つ

?。そういう問題を派山解決していかねばいけません。集团的自衛権は、解釈で解決出来るんだらうら早



「総合作戦の現状」
講師 海上幕僚長
海将 古庄幸一

講演前の古庄氏

た。これは今までのことにしたら大きなアクセル踏んでると思つてます。だから日本海に配備する海上自衛隊にしても航空自衛隊にしても、陸上自衛隊にしても大変いろんな動きが変わつたことは事実だと思つてます。だからその問題は政治のレベルでどうするか、云う問題であると思つてます。

質問 本日は本音の貴重なお話をありがとうございました。一つお伺いしたいのですが、二年前に中国の潜水艦が日本の領海を侵犯しましたけれど、どうして海上自衛隊が航空自衛隊が攻撃をしなかったのか。どこに問題があつて攻撃出来なかったのか、そのあたりをお聞かせしたいのですがよろしくお願ひします。

質疑

古庄 国際法上は領海内を潜没して航行している潜水艦に対しては、攻撃していいとも悪いとも書いてないんです。例としてはスウェーデンが領海侵犯したソ連の潜水艦を攻撃したことがあります。だけど基本的には攻撃しないで浮上させる手続をすることが一番ベストです。

国際法上では他国の領海内は潜水艦は潜没して航行してはいけないということになりますから、浮上して国旗を上げて航行しないこととなります。それをじゃ何故やらなかったかということになるわけですが、実はやりました。

やりました。一つははっきり言つて間に合わなかったと云うか、私は現役で作戦室に入つてましたので申し上げると、情報はいろんなところから皆さんご存知の通りたくさんあつたんですね。どこの国の潜水艦でどんな型かという事も、今は昔と違い全部解ります。日本の周辺で潜水艦を持っているのは七カ国ある

く決断しないよと、情勢が変わつたんだから。十年前と変わったんだからと云つてことを認識しなければいけないんじゃないかと思つております。雑駁な話に過ぎたところもありませんが、今日はこれで終わりたいと思つて

わけです。七カ国に外務省からみんな問い合わせをして「いや該当なし」と言われていました。このまま来ると領海に入ると朝四時ぐらいに報告があり、官舎を出た。そして作戦室に入り、このままだと、領海侵犯の恐れがあるから海上整備行動をかけて下さいと、頼んだのです。すでに過去一回、海上整備行動は工作船で掛つてましたから、経験は皆さんしているわけですね。しかし、いくら待っても掛からない。もう入っちゃったけれど、このまま抜かれてしまつた。だが、抜かれても次の島も領海である。このままの状態だともう一回入るから、抜けて出ていから掛かてくたさいという事で、そうしたら八時何分かに掛かるわけですが、その時にはもう一回目のところは出ちゃつたんですね。

近くで海上自衛隊の艦が訓練してましたから、すべ現場に行つた。ヘリコプターで魚雷も積んでる。飛行機もずっと探知してましたから、潜水艦はその近くでソーナーと云うものでガンガンやられて、あの(浅い)深さですと堪らない状況だつたと言つたのは、潜水艦乗りが聞きましての間違ひないと思つてます。そういう状況だつたんです。

応答

何故やらなかったかという理由は、国際法的に書いてないし、日本の国内法ではそれは到底何もできない状況下でした。出来る範囲で潜没した潜水艦に、領海に入つていて、お前は誰だ、浮上なさいという通信はするんですね。何が一番困つたかと言つて、潜水艦が魚雷を発射する扉を開いたら大変だ。ソーナーで聞いてたらずすに分かるんです。その次にはもう撃たれるしかないわけですね。どこの国の潜水艦が該当がない。アメリカでは無い、韓国も違う、中国もない、ロシアもない、日本では勿論ない、台湾でもない、オーストラリアでもないと言つたら、テロじゃないかと判断せざるを得ないんですね。もし撃たれたらどうするんだと。テロだったらそれでも出来ないんです。海上自衛隊は何も出来ないんです。国内法的に、そこが一番困つたんですね。

困つたと言つたので、今日は(会場) 現役の指揮官がたくさんいるから、現役の考えは皆同じなんです。国内法で、仮に撃たれて一隻の海上自衛隊の艦が沈んで、三百人の乗員が犠牲になつた場合、反撃の魚雷を撃つと思つてます。但しそうすると警察に御用になるんですね、入港してきたら、すべ国内法に違反しますから。法令はもちろんです。なければいけません。民主主義の軍隊ですから。国の方針にびた一文反抗できません。そういう教育を、ずっと六十年間受けているから、そんなことは百も承知なんです。が、現場の指揮官の気持ちを付度しているいる海幕長なり作戦部長だつたらどう判断するか。魚雷撃たれたらです。

す。残された時間、もし何か質問があればお答えできることはお答えしますし、出来ないところは出来ないとお申し上げますし、知らないところは知らないとお申し上げます。ご清聴有難うございました。

でもそれを国民が許すか、言つたら許さないと思つてます。マスコミも何故撃たなかったんだ、該当の国がなかったのに、テロだつたのではと、そつち火が付いてしまつたら、そのほうが将来大変なと思つてます。

私は制服を脱いだ立場ですから。制服は、現役は絶対に言えないんです。だからその問題を解決しないと。簡単なんです。普通の国の普通の海軍にすればいいんです。全く問題ないんです。それだけの実力もあるし訓練もして、一兆二千億という予算を頂いているわけですから、国民の共有財産なんです。問題はそこだけなんです。

質問 イージス艦の情報漏れで海上自衛隊とアメリカ海軍との関係は悪くならないでしょうかと心配しているのですが、いかがでしょうか。
古庄 私も心配なんです。いま調査している段階で、私も正確な情報持っておりませんので、お答え出来ません。だけど信頼関係はそんなに簡単には壊れないと思つてます。

司会 まだまだお伺いしたいところなんです。今日は七時までということで予定をしておりますので、これをもちまして終わらせて頂きたいと思つてます。古庄先生本当に有難うございました。
古庄 長い間、清聴頂きまして本当に有難うございました。(文責・新川)

海上自衛隊阪神基地隊
ちびっこ大会
期日 7月21日(土)
午前9:00~16:00
場所 神戸市東灘区
魚崎浜町37
電話 078-441-1001
(広報室)

陸上自衛隊八尾駐屯地
納涼花火大会
期日 8月2日(木)
午後6時から
場所 大阪府八尾市
空港1-81
電話 0729-49-5131
(広報室)

陸上自衛隊千僧駐屯地
納涼大会のご案内
期日 8月8日(水)~9日(木)
午後6時から
場所 兵庫県伊丹市
広畑1-1
電話 072-781-0021
(広報室)

陸上自衛隊伊丹駐屯地
納涼大会のご案内
期日 8月3日(金)
午後6時から
場所 兵庫県伊丹市
緑ヶ丘7-1-1
電話 072-782-0001
(広報室)

「ヒゲの隊長」佐藤正久が上梓した「イラク自衛隊戦闘記」の中には、彼が郷里での生い立ちから防衛大学校でのエピソードなどの記述もあるが、やはり圧巻はイラク先遣隊長としての経歴報告である。

日本人を体現したヒゲの隊長

彼はカンボジアにも高原にも派手な服装はしてない。イラクは三度目の海外派遣である。家族との水杯での涙の別れを三度も経験したのである。国家の命令で、国家社会の為に世界平和の為にと命懸けで飛び立つのは自衛隊だけではない。イラクで外務省の奥大使と出会い、その崇高な理念と人柄に激しく心を揺さぶられ、そして奥大使が銃殺されたことよって、彼は今まで以上に大きなものを背負うことになる。それが「他者の幸福の為に尽くすのが、あたりまえの日本人である」と言う信念であり、イラクにおいて「立派な日本人であり続ける」覚悟である。

イラクのムサンナ県は四国ほどの面積に六十万人ほどが住む南部高原地方都市であり、シーア派の多い貧しい地域でもある。その中心地サマーワに「佐藤商会」営業部隊として飛び込んだ先遣隊は、地元部族との和解により兄弟の扱いを受けるに至るが、そこまでの精神的支柱は「我々こそ立派な日本人として振舞わねばならない」という、真の愛国者としての自衛隊精神だったのである。

自衛隊の海外派遣に対する国内世論は決して暖かいものではなく、法的制約を

筆頭にイシメに近い扱いである。そのことも佐藤は、こみあげる憤りを淡々とたたきつけて流している。内閣がいかに腰抜けか、国会がいかに腑抜けかは読む者には痛いほど伝わる。彼は

そんな状況の中で、日本の誇りと名誉を護る為に、イラクの人々が一日も早く復興する為に、世界平和の安定と協調を保つ為に、そして何より部下が殺されない為に厳しい任務を遂行したのである。

「飲めば病気が治る」と称賛された水道水を配り、道路を作り橋を架け、小学校の整備に働き続けた自衛隊に、ある日小さな女の子がやってきて

「あのね、遊園地を作ってほしいの」とお願いしたという。貧しい地域のサマーワには遊園地もなく、子供達のパラダイスをも自衛隊に頼めば夢が叶うと信じた少女の目には、自衛隊が体現しているものこそ「立派な日本人」の姿そのものだ

『イラク自衛隊・戦闘記』(佐藤正久著)を読む

つたに違いない。他者の幸福を最優先し続けた自衛隊が、現地で尊敬されたいはずがない。PKOの現場は永田町や電ヶ関ではない。マスコミ報道は現場の真の姿を見せなくてはならない。こんな分かり切ったことさへも、今の日本では疑問に感じられることがある。

何もしなせずに大金持ちになる金融業者に憧れたら、見た目だけで中身のない芸能人に憧れたりする不毛な現代気質も、ヒゲの隊長が命懸けで立て直してやるに違いない。

ヒゲの隊長「佐藤まさひさ」を国政壇上にも送ろう

去る、六月十日の定例理事会に於いて、私共、関西防衛を支える会では、佐藤まさひさ氏を応援する事に機関決定しました。

氏は第一次高尾山高原先遣隊長、さらにイラク人道復興支援隊初代隊長として活躍された「ヒゲの隊長」です。制服を脱いで政治の道に進むことを決意された。

「現場を知るからこそ平和と命の尊さ、そして人の痛みがわかる」との信念の下、参議院選挙に出馬される。何卒、一人でも多くの方に紹介賜りたくお願い申し上げます。

後編 編集 記

*中島元相談役が永眠された。故高橋会長が就任された時、理事会で従来の年会費を徴収するだけの運営では会の継続は無理ですよ、これからは機関紙を発行して広く会員に運動内容を伝えるべきです、と進言した。その時、中島さんから「石翼のような新聞か」とクレームがついた。高橋会長からは「二号新聞にやらんようにやろうや」と快諾を得た。その話を四月二十九日、高橋会長追悼文集のグラを病室に届けた際、中島さんに語ると、苦笑いされていた。それから二十日余りで物故されるとは夢にも覚えなかった。中島さんが危惧されたのも無理はない、氏の経歴は警備畑中心であった。

昨年の紀元節で橿原神宮での機関紙配布の折、中島さんは帽子にマスク姿で参加された。「中島さん、曾ての部下がきょうさん来ているから変装ですか?」と半分からかい気味に聞くと、「そつだ」と、笑っておられた。ご冥福をお祈りします。

*古庄元海霧長の講演は、語る言葉がそのまま文章になる素晴らしいものであった。それ故に、文章に贅肉が無い。為に、削るに削れない苦衷を誰か知る、の心境で、この号はどうとう八頁になってしまった。是非の熟読を期待します。

関防行事エトセトラ



総会後の懇親会(5月26日)

平成16年8月15日、大阪護国神社で、前列、左から山根、柳本、高橋夫人、故高橋会長、故中島元、長田の各氏



「小池百合子衆議院議員とこびき司衆議院議員の朝食会」で小池さんを間に濱野会長夫妻(5月26日、於宝塚ホテル)

満州慰霊旅行のご案内

- *時期 9月中下旬の7泊8日
- *訪問地 大連・瀋陽(奉天)・長春(新京)・ハルビン・ハイラル
- *集合地 関西国際空港
- *解散地 関西国際空港
- *費用 200000円以内
- *主催者 蘭星会・同徳台同窓会(満州軍官学校同窓会)
- 満州五族の墓奉賛会(在・高野山)
- *備考 受付「関西防衛を支える会」、7月下旬締切り。

新川 090-8160-0521

7月8日開催の関防会歴史勉強会の講師・後藤文夫氏(奉賛会々長)から説明あり。

希望者へは詳細後日郵送。

死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアシの純粋フコイタンをダブルで配合!!
生活習慣病が気になる方に...

【フコイダンZ】150粒(25~50日分)25,000円
お試し用30粒入り2,000円と
お徳用350粒入り50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

自衛隊広報紙

広告掲載企業募集

取扱い媒体
中部方面隊広報紙 やましろ
第10師団広報紙 金城
第3師団広報紙 錦城
第13旅団広報紙 みつや

自衛隊「広報室」編集広報紙取扱
株式会社 若鳩
本社 〒570-0032大阪府守口市菊水通2-19-1菊水第二ビル
TEL(06)6993-0099
支社 〒530-0028大阪市北区万歳町4-12浪速ビル西館401-B号
TEL(06)6362-0888
FAX(06)6362-3591

第7回・関防歴史勉強会

中島サロンの御案内

期日 7月8日(日)午前11時から

場所 錦城閣(中華料理・キャッスルホテル3F)

会場 地下鉄・天満駅、京阪電車・天満橋駅下車すぐ

会費 2000円(昼食代含む)

講師 後藤文夫氏(満州軍官学校からシベリア抑留)の総編集

受付 新川 090-8160-0521

備考 当日、満州慰霊旅行の説
明あり
次回開催は9月8日(土)午後4時から